

国内発生98例目豚熱(CSF)

群馬県で患畜を確認！

<発生農場の概要>

- ・所在地：群馬県前橋市 飼養状況：約6,800頭
- ・群馬県は、4月3日同県前橋市の農場において死亡豚数が増加している旨の通報を受け、当該農場に立ち入り、検査を実施
- ・県の検査により豚熱の疑いが生じたため、国の研究機関で精密検査を実施したところ、4月4日、豚熱の患畜であることが判明

<交差汚染防止の重要性>

- ・私服・靴(通勤着)から場内着・場内用長靴へ更衣する際、同じ場所で更衣すると、外部からの汚れを畜舎内へ持込んでしまうことになります。
(=**交差汚染**。逆の場合は汚れを畜舎外へ持ち出してしまいます！)
- ・交差汚染の防止には、必ずしも新たな施設や高額な建物が必要ではなく、既存の施設のままでも**工夫**により、目的を達成することができます。
- ・長靴を交換する際にスノコを利用し、スノコの手前で履いて来た長靴を脱ぎ、スノコに乗ってから畜舎用長靴に履き替えるだけでも**交差汚染を大幅に低減**できます。
- ・**県内の野生いのししでもCSF陽性事例が確認**されていますので、交差汚染により豚熱ウイルスを農場や豚舎に持ち込まないように、万全を期しましょう！

① **早期発見・早期通報**

② 家畜飼養農場の**防鳥ネット・防護柵等**の再度の確認、

人・車両の出入りの際の**飼養衛生管理の強化**

③ 農場周辺の消石灰散布など**消毒の徹底**等による

農場へのウイルス侵入防止の徹底

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018

野生動物対策



農場を囲う柵を設置するとともに、破損などが無い定期的に点検。

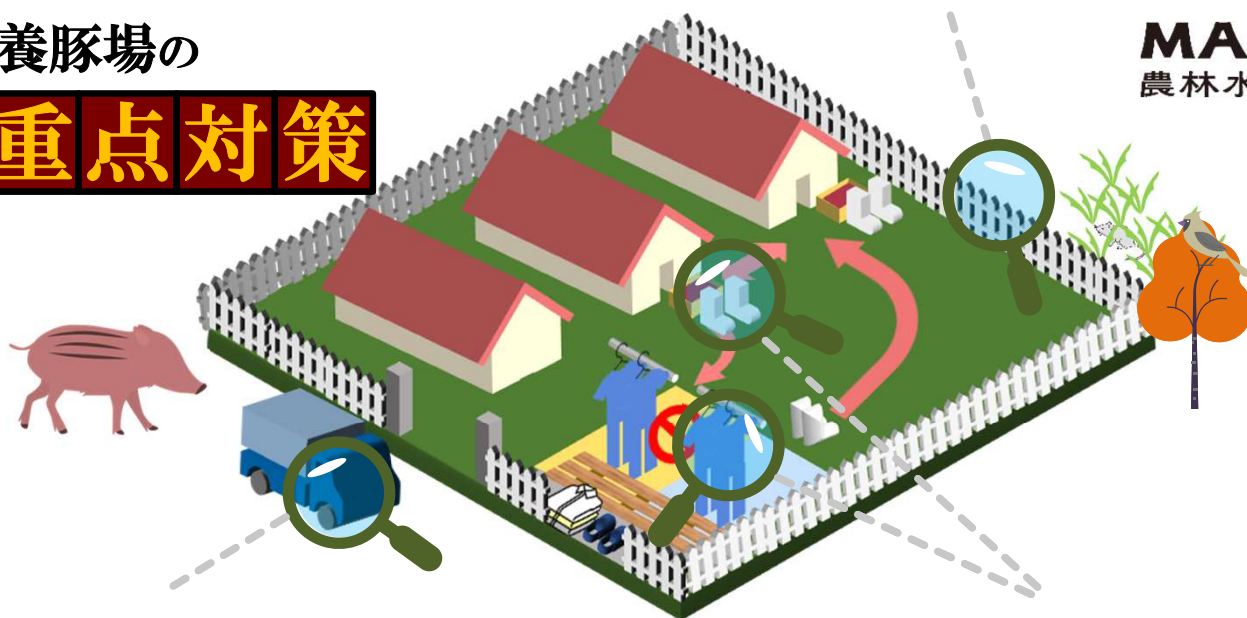
農場辺縁を含め敷地内の草刈りや枝の剪定を行い、野生動物が隠れる場所を作らない。

死亡家畜は野生動物を誘引しないよう適切に保管。

養豚場の

重点対策

MAFF
農林水産省



農場内や進入車両の消毒



畜舎周囲・農場外縁部に定期的に石灰を散布。

車両の洗浄・消毒も忘れない。車体、タイヤ周りや溝の汚れをしっかりと落とす。

更衣・履き替えの徹底



洗浄・消毒された衛生的な衣服や長靴を用意。

長靴は履き替えを徹底し、使用後は洗浄してから消毒し、消毒薬は定期的、または汚れた都度交換。